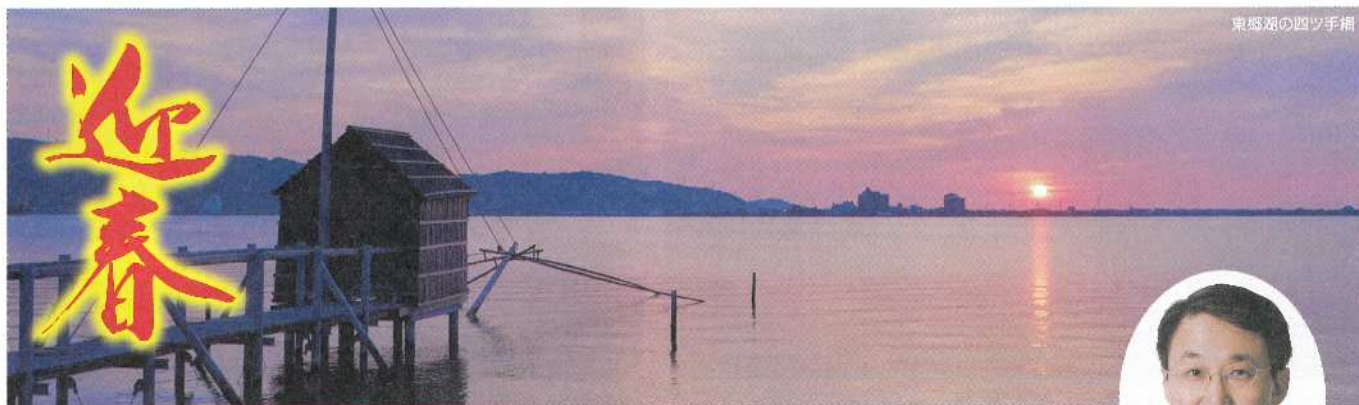


生活衛生とっとり

編集・発行

鳥取県生活衛生
営業指導センター
鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(1F)109号
TEL 0857(29)8590
FAX 0857(29)8591
E-mail: tottoricenter@seiei.or.jp
URL: https://seiei.tottori.jp/



東郷湖の四ツ手櫓

新型コロナを乗り越える新たな年に 鳥取県知事 平井 伸治



県民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスとの闘いが激しさを増し、日本でもデルタ株急拡大などにより尊い命が奪われる事態が続出しましたが、鳥取県では、クラスターが相次いで発生したものの、陽性者が見つければ濃厚接触者に限らず迅速に幅広く検査を行い感染拡大を抑え、病床確保により入院を原則としつつ、県独自の「メディカルチェックセンター」や看護師配置など自宅や宿泊療養にも医療看護の見守りを確保することで、感染者数を全国で最も抑え、亡くなられた方の数も全国最少を守ることができました。御協力いただいた県民、医療関係者、事業者の皆様深く感謝申し上げます。この間、私自身は昨年9月に全国知事会長に就任し、新たに医師会や経済界等と連携する「共にたかかう知事会」への改革を提唱するなど、全国の同志の先頭に立て未曾有の困難に立ち向かうこととなりました。

本年こそ、新型コロナを乗り越える飛躍の年にしなければなりません。

感染力が強いオミクロン株をはじめとした新たな脅威を迎え撃つため、コロナ病床を350に引き上げ疫学調査や入院調整機能を強化して全国一の体制を整えます。宿泊療養にも診療機能を設け、子どもの検査・治療や家族支援、後遺症診療を拡充し、3回目のワクチン接種を市町村・医療関係者と共に円滑に実施するなど、鳥取県の総力で県民の命と健康を守り抜きます。県民の皆様には、ワクチン接種も含め感染予防への御協力をお願いします。

また、感染を抑えながらも新型コロナで疲弊した経済と生活を取り戻すため、新たに「コロナ禍再生応援金」を交付し、無利子・保証料なしの県制度融資や県独自の事業展開助成創設のほか、宿泊・観光助成を隣県圏域全てに拡大し、対策認証店の割引食事券を発行します。生活困窮対策も進め、生活福祉資金を拡大し自立支援体制を強化します。

さらに、コロナ後へ一気に成長軌道へ地域の活力を押し上げていくために、経営安定支援策を関係機関と協力して講じるとともに、デジタル化や次世代自動車など時代の潮流をとらえた産業振興・人材育成に挑み、併せて、全国和牛能力共進会鹿児島大会や境漁市場2号上屋完成等の機をとらえ、農林水産業のブランド化やスマート化を図り、生産基盤強化、販路開拓、担い手確保など農林水産業の活性化へ突き進みます。

新型コロナを契機に価値観が変わり、自然豊かで人の絆がある地方が見直されつつあり、感染を抑え込んだ鳥取県に修学旅行が来るなど変化の兆しが現れています。そこで、副業・兼業、転職無き移住、ワーケーションなどを促進するとともに、生誕100年記念の水木しげる生誕祭や大山の下山キャンプ場供用など家族旅行やアウトドアツーリズムをはじめコロナ後の新たな旅の形を追求します。

安心して暮らせる心豊かなふるさとづくりを進めることも大切です。

鳥取県は全国調査で2年連続して最もSDGsを進めている県と評価されましたが、更にこれを加速させるため、2030年度の温室効果ガス13年度比削減目標を40%から国を上回る60%へ引き上げることとし、都道府県で初めて「SDGs企業認証制度」を発足させるほか、住宅や事業所などへの太陽光発電導入や健康省エネ住宅化、山林の皆伐再造林などを展開します。

今年は「日本女性会議2022in鳥取くらよし」が開催されます。一人ひとりが大切にされる社会に向け、人権施策基本方針を改訂するほか、医療的ケア児支援センターや聴覚障がい児のサポートセンターをオープンします。ICT活用など工夫をこらし認知症予防、ひきこもり対策、ヤングケアラー支援を展開し、子育て応援アプリや産前産後ケアなど子育て王国の充実を図るほか、腎疾患治療センターを開設します。

いよいよ鳥取県立美術館の建設工事に着工します。全国の元気シニアが集結する「ねんりんピック鳥取大会」が2年後に迫ってきました。国際バカロレア教育や夜間中学校の開設準備を行うとともに、市町村と協力しながら子どもの学力向上対策を強化するなど、文化・スポーツも含め地域を支える「人財」を育てる体制を構築します。さらに、新年度中に岩美道路供用へ前進させ、河床掘削や通学路安全対策を進めるなど、未来への公共基盤整備を促進するとともに、盛土等の斜面の安全対策や流域治水全県展開など、安全安心の地域づくりを推進します。

結びに、生活衛生関係営業に携わられる皆様の限りない御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、本県が新型コロナを乗り越え力強い発展へ舵を切る年となりますよう祈念申し上げます。

組合だより

美容体験学習を開催(後継者育成支援事業)

美容業生活衛生同業組合

10月25日、学校法人鳥取敬愛高等学校において、継続7年目となる(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター主催の後継者育成事業が、1年生180名を対象に開催されました。

当日は、鳥取支部組合員16名に加え、倉吉支部より5名の組合員の応援と鳥取県理容美容専門学校の生徒の協力のもと計画通りの進行が叶い、関係者各位の方に感謝の念が堪えません。

昨年同様にコロナ禍での開催にあたり、感染予防対策を徹底しつつ、カット体験・着付け体験・美容学生のメイクアップ・変身ティーチャーと各ブースにグループ分けされた対象者に、限られた時間での体験ができたことにより、生徒の方々は将来の選択枠が広がることになるかと思えます。

このような地元の後継者を育成していく取り組みにより、美容業をはじめとする生活衛生営業にかかわる人材が増えることにつながると思いますのでこれからも継続していく必要性を強く感じました。

(理事 松岡)



皆生温泉観光(株)「創立100周年」を迎えて

公衆浴場業生活衛生同業組合



大正10年(1921年)に創立した弊社は、昨年100周年を迎えました。温泉の調査・掘削をはじめ何もなかった皆生の街づくりに着手し、そして配湯、公衆浴場の運営等を始めました。しかしながら波浪浸食による源泉の倒壊や消滅、昭和初期の恐慌等多難な時期があり、もう存続できない状態の時に新たな経営者を迎え、今こうして100年を迎えられたのは万感の思いがあります。

コロナの状況がまだ落ち着いていない中、昨年6月にOB・OGを招き全従業員が参加して100周年を祝いました。催しを企画運営してくれた100周年記念委員会のメンバーは「100年という会社の諸先輩の歩みを知り、感謝の思いを明日につなげる催しとして計画しました」と頼もしく語ってくれました。

奇しくもこの100周年にコロナで苦しめられるとは思いませんでしたが、諸先輩に恥じぬよう従業員一同、地元で愛され存在する意味のある会社になすべく次の100年に邁進してまいります。

(皆生温泉観光(株) 坂内)

「ビール1000杯を振舞う秋の宴2021」を開催

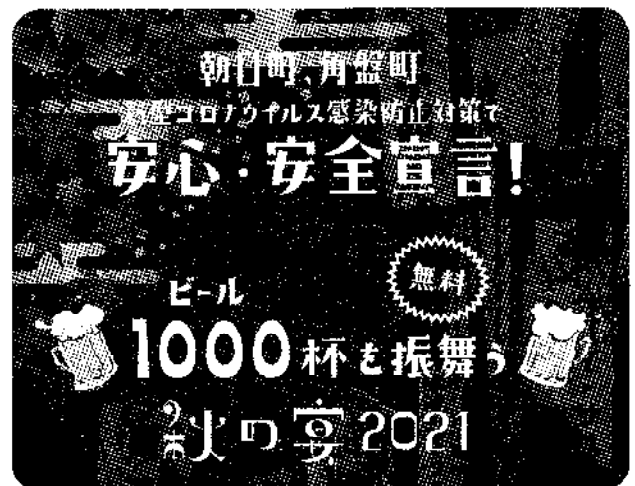
飲食生活衛生同業組合

飲食組合米子支部では、11月19日と20日の両日「ビール1000杯を振舞う秋の宴2021」を開催しました。このイベントは、7月21日から8月3日まで営業時間短縮要請が出されるなど昨年も新型コロナの影響により大きな打撃を受けている飲食店を盛り上げようと、鳥取県の補助金を活用して朝日町・角盤町エリアで実施しました。

イベントを開催した時期は、県内での新規感染者はほとんど確認されなくなっていました。が、“飲みに出るのはまだ控えようかな”という雰囲気が残っており、安全・安心な時には多くのお客様に飲食店を利用して頂くきっかけになればと企画したものです。

新型コロナが落ち着いたとしても、飲食店街に人出が戻るにはまだ時間がかかるのではと心配していますが、今年も様々な取り組みを通じて飲食店を盛り上げていきたいと考えています。

(米子支部 山根)



グランドゴルフ大会開催

クリーニング生活衛生同業組合



コロナ禍で組合活動が思うようにできない状況が続いている中、鳥取県での感染状況が少し落ち着き始めた9月26日、県組合懇親事業のグラウンドゴルフ大会が行われました。

例年、親睦事業として行っていましたが、一昨年は中止され、2年ぶりの開催となります。

3密の感染対策を鑑み、「屋外」「少人数グループ」「飲食なし」「マスク、手洗い、体調等の自己管理」を徹底し、僅かであっても組合員同士で同じ時間を共有したいとの思いから開催を計画し、当日は天候にも恵まれ、ご家族含め30名の参加を頂きました。

一打一打に笑顔が溢れ、ホールインワンには思わず歓声が上がりましたが、屋外だから大目に見て…と、それぞれがお互いに気を付けながらプレーを楽しみました。

雑談の中では、今の状況や情報交換なども多くあり、組合員同士の繋がりを実感し、対面での温かさや大切さを再確認できた時間でした。

新しいコロナ株が発生し、まだまだ心配の尽きない状況ですが、皆が健康に留意し、今年も開催できることを願ってやみません。

(事務局 徳田)

初めてのリモート講習会

理容生活衛生同業組合

新型コロナウイルス感染予防対策が始まってから2年近く経ち、この間、各種行事や講習会等が中止となり、会員の皆様とのコミュニケーションが少なくなっているように感じております。

私達の業務には必要不可欠な衛生消毒講習会を行うにあたって、少しでも新型コロナウイルス感染のリスクを減らしての開催を鳥取県生活衛生営業指導センターに相談したところ、リモートでの開催(今回は中部地区)を快く引き受けて頂き、当日の開催を迎えることができました。

各支部では、当日までにZoomのアプリを会員の皆さんにインストールして頂く必要があったため、支部のLINEグループでお願いしたり、「わからない、出来ない方は、役員がお手伝いします。携帯電話を持っていない方、苦手な方は、支部長の店に来てください」と連絡されたところもありました。

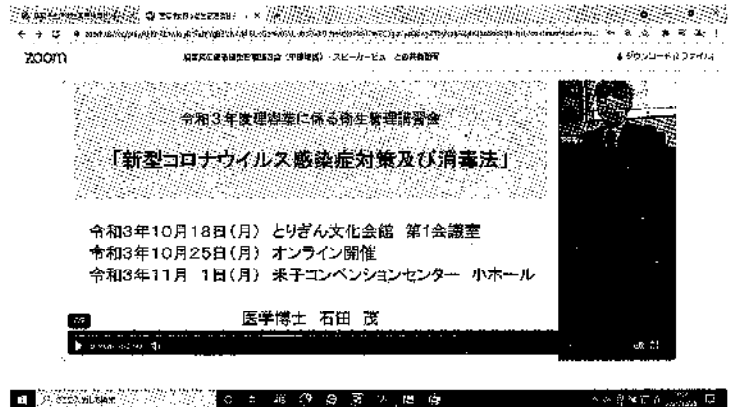
また、初めての事なので、広めの会場に集まって頂きリモートの様子をプロジェクターに写し出して開催されたところもあり、「移動が無いスケジュール(時間)調整が取りやすい」、「とてもスムーズな進行で全く問題なかった」、「当日、都合が悪くても後日オンデマンド配信で見直すことができる」など今回の開催にあたって良い点が多かったとの感想を頂き、今後、交通手段のない方や高齢者の方でも外出せずに参加出来ることで様々な講習会等への参加者が増えるのではないかと考えます。

今年度も少しでも技術提案が出来る様に、講師会のメンバーが色々と考えながら活動を行っています。

その活動を理事の方が「講師の日夜の活動や会員の皆様の為にやっている事を少しでも多くの人に見てもらい、理解してもらう事、しいてはお店の活性化＝鳥取県理容生活衛生同業組合の活性化を目指しての事です」とお話を伺いました。

初めてのリモート講習会を機に、会員の皆様の一人一人がお互いに助け合って出来るのは私たち理容組合の強みだと改めて感じる事ができました。

(広報部長 戸田)



感染拡大防止対策の様々なアイデア商品

旅館ホテル生活衛生同業組合

最近では急激な感染者の減少によりGoToトラベルキャンペーン再開を巡る動きや報道が賑やかになり、WeLove山陰キャンペーンを皮切りに客足は徐々に戻りつつありますが、コロナ以前とはまだまだ程遠い状況が続いております。

旅館ホテルにおいては、日頃から組合員皆様が衛生管理を徹底している中、コロナ渦でアルコール消毒、換気、人の密集の軽減等々、数多くの対策に取り組み、利用者はもとより施設側従業員も含めた双方の衛生管理を行うことにより新型コロナウイルスの感染リスクを軽減し、提供する食事の安全性を高め、安心して利用して頂いています。

先日、あるホテルの食事会場入り口に簡単、便利にビニール手袋をはめることができるタッチレスエアログローブという名の商品が設置、利用されていました。バイキングで食事を取る際にトングを使用しても二次感染を防ぐので安心して食事をとることが出来ます。この商品はエアでビニール手袋(使い捨て手袋)を膨らませ、そこに手をスライドさせるだけで手袋を装着できます。非常に簡単そして素早く着用することが出来るので、衛生状態を必要とするあらゆる場所に最適で相互感染を最小限に防ぐことを可能にしてくれる商品でした。また、手袋が置いてあるだけでも消費者の皆様に安心感を与えることもできるので非常によく考えられた商品だと思いました。

(事務局 米原)

令和3年度

事業実施状況の概要

生活衛生関係地区連絡協議会

(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター

生活衛生関係地区連絡協議会

行政、生衛組合地区役員、経営特別相談員及び日本政策金融公庫が一同に会し、生衛業に関する課題や情報等について意見交換を行う協議会を県内3地区で開催しました。

協議会には、延べ50名が参加し、行政からのHACCPに沿った衛生管理など食品衛生法の改正、新型コロナウイルスの再拡大への備えや影響を受けている営業者への支援制度、日本政策金融公庫からの業況が悪化した営業者に対する貸付制度等の情報提供が行われました。



衛生管理講習会

衛生管理講習会



理容業、美容業の各生活衛生同業組合と連携して、県内3地区でそれぞれ3回衛生管理講習会を開催し、営業者や従業員330名が参加しました。

講習会では、保健所の担当者から「新型コロナ安心対策認証店制度」等の説明が行われた後、医学博士の石田先生より「新型コロナウイルス感染拡大予防」をテーマに科学的知見に基づく感染状況、感染経路及び感染拡大予防のための効果的な対策などの説明がありました。

今回の講習は、理容(中部地区)ではリモート講習とし、また、美容(東部地区)ではオンライン講習も同時に行うなどコロナ禍での開催に新たな手法も取り入れました。

生衛業経営セミナー

生衛業経営セミナー

12月6日、ANAクラウンプラザホテル米子において全国センターと共催で生衛業経営セミナーを開催し、県内外から約60名の方に参加いただきました。

セミナーでは、県西部総合事務所の朝倉局長より「鳥取県における新型コロナ対策の取り組み」、(株)リフェイスの中村代表より「ウィズコロナ時代の店づくりと顧客づくり」、全国センターの伊東専務理事より「コロナに向き合う生活衛生同業組合を考える」の講演があり、参加者からは「大変参考になった。自分の店にも取り入れたい」、「年に1回はこのようなセミナーを開催して欲しい」などの意見が寄せられました。



令和3年度生活衛生功労者表彰

栄えある受賞おめでとうございます



厚生労働大臣表彰

戸崎 恭一郎 氏(倉吉市)
鳥取県理容生活衛生同業組合副理事長



全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

岩本 克美 氏(北栄町)
鳥取県クリーニング生活衛生同業組合理事



謹賀新年

本年も変わらずよろしく願い申し上げます。



理事長 松本正嗣

(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター

理事長 松本正嗣 (公衆浴場業組合理事長)	副理事長 岩崎元孝 (旅館ホテル組合理事長)
副理事長 福岡英年 (理容組合理事長)	常務理事 小畑正一 (指導センター)
理事 正田真弓 (美容業組合理事長)	理事 穴道榮一 (飲食組合理事長)
理事 西山善博 (食肉組合理事長)	理事 鴨河猛志 (クリーニング組合理事長)
理事 武智徹 (※日本政策金融公庫鳥取支店国民生活事業統轄)	監事 田中和子 (旅館ホテル組合監事)
監事 山本浩 (理容組合常務理事)	
経営指導員 中嶋京子	事務職員 小林真由美

皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

株式会社 日本政策金融公庫

鳥取支店 国民生活事業
事業統轄 武智 徹



米子支店
支店長 森本雄一



《特別会員紹介》

株式会社プラスビッツ

◇業務内容 ホームページ制作、Webシステム開発等
〒680-0801 鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(3F)308号
TEL 0857-30-3100 FAX 0857-30-3101

(有)福井印刷

◇一般企業の方から小売店・飲食店・美容室・サービス業・個人の方まで見積無料! 少数部でも大量のご注文でもOK!
〒680-0872 鳥取市宮長21-4
TEL 0857-37-4669 FAX 0857-37-4628